Behavior Coding System

【行動コーディングシステム】
行動観察記録とその量的分析のためのソフトウェアです。
これまで観察記録と集計にかかっていた手間を、大幅に軽減することができます。
動画を撮れない環境では直接見ながらのライブ観察も可能です。

行動コーディングシステムの特徴

①映像機器を操作する手間を省きます。
プログラム上で映像を制御するため、AV機器の操作は不要です。
観察結果と映像が連動するので、見たい時点の映像をワンクリックで表示。
同じシーンの繰り返し観察も楽々スピードアップ。

②時間を読み取る / 観察メモを取る手間を省きます
映像を見ながらキーを入力するだけで時間とカテゴリが記録されます。
映像から時間を読み取ってメモする必要はありません。

③集計 / 分析の手間を省きます
記録直後に集計と解析まで完了します。手作業での集計は不要です。

複雑な設定を必要としません。

カテゴリの決定
▼
プログラム上で画像の頭だしと計測時間設定
▼
計測スタート
▼
動画を見ながら行動発生時にキーを押します

●コーディング後に、行動の生起回数や時間を即座に算出します。
分析項目を設定しておけば、データの信頼度や行動連鎖の解析も簡単に行うことができます。

●コーディングの繰り返しやデータの修正も容易です。

●シンプルで見やすいグラフと表です。
データやグラフをコピーして、他のソフトに貼り付けることができます。

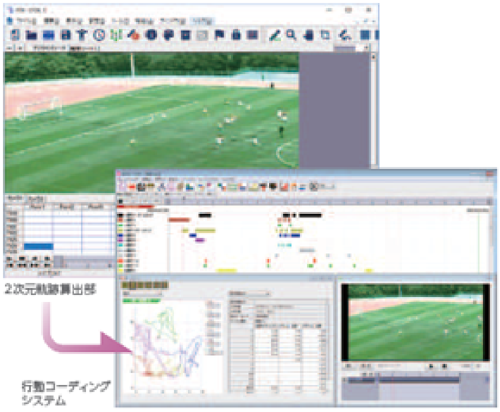
行動コーディングシステム

動画・音声ファイルなどの映像メディアを利用して、人物や動物、ロボットなどの行動観察を行うシステムです。映像を見ながら、予めカテゴリに分類した行動に対応するキーを押すことで、生起・持続時間をパソコンに記録していきます。同じシーンの繰り返しや、スロー再生などの画像制御をパソコンから行うことができるので、微妙な行動の変化を捉えることもできます。
データの修正も容易です。データ記録後に、回数や時間の集計(生起頻度)や行動連鎖の解析、二者の一致率(カッパー係数)などの算出を行います。カテゴリは最大160個まで設定可能です。
映像の形式や記録メディアによっては画像をそのまま利用できないことがあります。その場合にはオプションのソフトウェアを用いてMPEG2形式やAVI形式に変換してご利用下さい。

行動コーディングプログラムBECO2	IFS-77	1	600,000
オプション			
動画変換ソフトウェア	PH-1407	1	29,800
旧プログラムからのバージョンアップ		1	150,000

2次元軌跡・行動分析パッケージ

<ゲーム分析>



２次元軌跡算出部(Frame-DIAS)と行動分析部(行動コーディングシステム)で構成されます。
2次元軌跡算出部では、映像から画像解析により位置データを算出します。行動分析部では、行動・作業・動作などをカテゴリ化して時系列で記録することに加え、2次元軌跡算出部で作成した位置データを読み込んで、行動と場所に基づく分析を行うことができます。軌跡表示、軌跡長、平均速度、エリア分析(エリア毎の滞在時間(行動持続時間)、行動頻度)、相対位置分析(行動生起時の相対距離、近接時間)を算出します。スポーツの場面においては、技や動作の種類、攻撃のパターンなどを時系列で記録し、ゲーム分析に役立てることができます。

行動分析部			
行動コーディングプログラムBECO2	IFS-77	1	600,000
2次元軌跡算出部			
Frame-DIAS 6 プログラム（DG）	IFS-25H	1	600,000
		小計	1,200,000

オプション			
動画変換ソフトウェア	PH-1407	1	29,800
Frame-DIAS 6 プログラム（DG/2D）	PH-1433B	1	1,100,000